

アナログマジックの導入(1)

－設定と測定準備－

1. 始めに

アナログマジックと称する、アナログセッティングツール発売の情報に興味を持ち、ちょうどこのツールを評価中のアサヒステレオセンターに依頼して試用させてもらうことにし、Mt.T2 氏邸および拙宅での使用を行いました。これらの経過は下記にまとめています。

[アナログマジックデモンストレーション報告 \(2019.4.27\)](#)

[M.T2 氏邸訪問記\(2019.4.30\)](#)

[アナログマジックの試用シリーズ報告](#)

2. アナログマジックの情報収集

アナログマジックの情報は、アナログマジックの試用(1)でも報告済ですが、引き続き、下記の情報収集を行いました。

AnalogMagik Teaser Video

<https://www.analogmagik.com/product>

Operation Instructions

<https://www.analogmagik.com/instuctions>

ANALOGMAGIK SOFTWARE TEST FUNCTIONS & TUTORIALS

<https://www.analogmagik.com/turntable-setup>

AnalogMagik Tutorial No. 1: Basic Cartridge Alignment

<https://www.analogmagik.com/basic-cartridge-alignment>

AnalogMagik Tutorial No. 2: How to set proper turntable Speed, and measure Wow & Flutter

<https://www.analogmagik.com/speed>

AnalogMagik Tutorial 3: How to Set Azimuth on Your Cartridge.

<https://www.analogmagik.com/azimuth>

AnalogMagik Tutorial No 4: How to set Vertical Tracking Angle (VTA)

<https://www.analogmagik.com/vta>

AnalogMagik Tutorial No. 5: How to Optimize Anti-Skating

<https://www.analogmagik.com/antiskate>

AnalogMagik Tutorial No. 6: Optimizing Load & Gain on your Phono Stage

<https://www.analogmagik.com/loading-gain>

AnalogMagik Tutorial No. 7: How to measure Vibrations & Resonant Frequencies

<https://www.analogmagik.com/vibration-resonance>

AnalogMagik Tutorial No. 8: How to set Vertical Tracking Force (VTF)

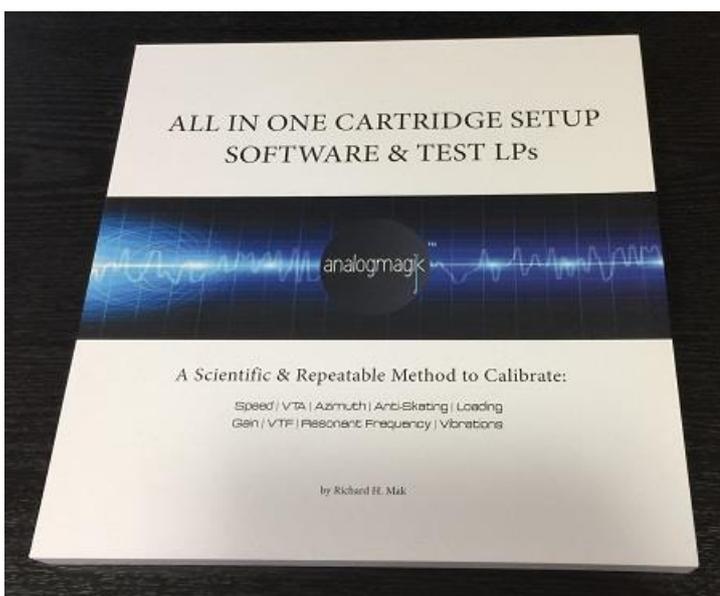
<https://www.analogmagik.com/vtf>

上記 Tutorial の動画を見ますと、豊富な治工具を使って調整していることとシステム自体が高度なもので調整が容易なことが分ります。このようなシステムでない場合は、測定、調整、再生聴音の反復で追い込むことが必要となりますが、かなりの参考になります。

2. 開梱

以上の経過を踏まえて、正規版の導入に踏み切りました。

梱包はしっかりしたものであり、外箱にも一定程度の説明があります。取り扱い説明書の和訳の訳文はしっかりしたもののようにですが、字が薄かったり、細かかったりして非常に読みづらいものです。念のため、原文もあった方が良さそうです。



3. 動作テスト

ソフトウェアのインストールなどは、[アナログマジックの試用\(1\)](#)の段階で済んでいますので、接続と測定のテストを行ってみました。

システムは Garrado 401 を使用し、Garrado 401 の整備(7)で報告した状態で実施します。

インターフェイスの USB Phono Plus を所定の接続をおこない、USB ライセンスキーを PC に差し込むと、アナログマジックの測定画面が立ち上がりました。

測定のテストは、リムドライブの弱点である回転速度とワウ・フラッターを対象に行いました。目視でターンテーブルサイドのストロボを見ながら、手動でスピード調整を行いましたが、次のような結果が得られました。

3.14185KHz, 0.0689%

3.17494KHz, 0.0600%

3.16897KHz, 0.0609%

3.14923KHz, 0.0604%

回転速度の調整は非常に困難ですが、意外だったのは、ワウ・フラッターが安定していて、0.2%以下という基準に入っていました。

4. まとめ以上

アナログマジックの動作確認が終了しましたので、LINN LP-12 と Garrad 401 の両システムについて測定と調整を実施していきます。

以上